

渡部純子
リサイタル
2017

JUNKO WATANABE Recital 2017

平成28年度
愛知県芸術文化選奨 新人賞受賞記念

歌い手が

「言葉、音楽、芝居」を

紡いでゆく時、

何を伝えるのだろうか？

2017年 10月7日(土) 13:30 開場 | 14:00 開演

チケット[全自由席]：一般 4,000円 | 学生 3,000円

ザコンサートホール 名古屋・伏見・電気文化会館

チケット取り扱い：Music Office Nobuchi Tel.052-265-7405 | 愛知県芸術文化センター Tel.052-972-0430
ヤマハミュージック名古屋店 Tel.052-201-5152 | カワイ名古屋店 Tel.052-962-3939

マネジメント：Music Office Nobuchi | 後援：名古屋音楽大学、愛知県立大学法人 愛知県立芸術大学、日進市、一般社団法人 名古屋二期会

言葉×音楽×芝居

渡部純子 リサイタル 2017

どの歌にもその源には言葉が、詩があります。
「言葉と音楽」で伝える歌曲、そして「芝居」が加わるオペラ。
この度、長年の憧れであった《トスカ》第2幕を
今をときめくアーティスト達と上演する運びとなり、
ともに“言葉×音楽×芝居”の舞台を繰り広げます。
ぜひご来場いただき、その魅力をお確かめください。

渡部純子

《第1部》

ヨーロッパで18世紀末から19世紀にかけて花開いた歌曲の世界。その発展の背景には、特にロマン派文学の詩人たちの活躍がありました。フォーレの《月の光》(ヴェルレーヌ)、シューベルトの《魔王》(ゲーテ)など名曲を、原詩の朗読とともに味わっていただきます。

《第2部》

プッチーニ作曲オペラ《トスカ》は、1889年に舞台化されたサルドウの戯曲《ラ・トスカ》をもとにしており、台本はプッチーニと共に《ラ・ボエーム》《蝶々夫人》をも創り出した名コンビ、詩人ジャコーザと台本作家イリカによって完成されました。3人の天才たちの共同作業により《トスカ》は比類なき傑作へと昇華し、中でも、その劇的要素においてオペラ史上最高の「幕」である「トスカ第2幕」が生み出されたのでした。

(全プログラム字幕上演)



渡部 純子
【ソプラノ】

国立音楽大学声楽科卒業。東京二期会、新国立劇場オペラ研修所等で研鑽を積み、2001年渡米。マンハッタン音楽院にて修士号取得。'05年アーティスト・インターナショナルコンクール特別賞受賞、カーネギーのヴァイル・ホールにて記念リサイタルを開催。'07年コネチカット州において「蝶々夫人」タイトルロールで米国オペラデビュー。その他、《フィガロの結婚》(スザンナ)、《魔笛》(パミーナ)、《ラ・ボエーム》(ミミ)、《カルメル会の修道女たちの対話》(新修道長)などに出演。'12年より東海地区を拠点に活動開始、オペラやコンサート多数にて活躍。'12年《名古屋二期会ニューイヤーオペラガラコンサート》(指揮:飯守泰次郎氏、共演:平尾憲嗣氏)、《第九》や宗教曲ソリストとしても活動。帰国記念の初リサイタル《2013 渡部純(※当時名称)ソプラノリサイタル》(ピアノ:山下勝氏)では多岐ジャンルの歌曲を好演、同リサイタルにおいて第9回名古屋音楽ペンクラブ賞を受賞。'15年東京文化会館小ホールにおいて《全国二期会サミットコンサートV》(ピアノ:石山英明氏)に出演。同年秋、愛知県芸術劇場大ホールにおいて名古屋二期会創立45周年記念、初演オペラ《宗春》(影の者)に出演。'16年名古屋二期会《蝶々夫人》タイトルロール出演。平成28年度愛知芸術文化選奨 新人賞受賞。

現在、名古屋二期会会員。名古屋音楽大学および愛知県立芸術大学非常勤講師。

HP : www.junkowatanabe.com/



田尾下 哲
【演出】



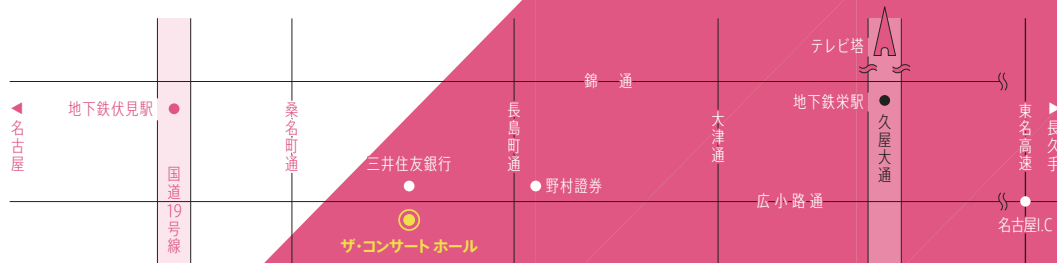
平尾 憲嗣
【テノール】



大沼 徹
【バリトン】



石山 英明
【ピアノ】



お問合せ
Music Office Nobuchi
052-265-7405
info@office-nobuchi.com

ザコンサートホール
名古屋・伏見・電気文化会館

〒460-0008 名古屋市中区栄2-2-5 Tel.052-204-1133

地下鉄 ▶ 東山線・鶴舞線「伏見」駅4番出口より徒歩2分
※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。